

## I 調査の概要

### 1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校担当箇所、所管する高等学校の海外修学旅行並びに修学旅行以外の海外研修の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、東京都・福岡県の私立及び兵庫県の公私立の実施状況については本協会の独自調査による。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 平成29(2017)年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
  - イ. 平成28(2016)年度海外修学旅行の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国
  - ロ. 平成28(2016)年度海外研修の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、研修先国、研修内容
  - ハ. 平成28(2016)年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
  - ニ. 平成28(2016)年度国内修学旅行方面別実施状況
  - ホ. 平成28(2016)年度訪日教育旅行受入状況
  - ヘ. 平成29(2017)年度修学旅行の実施基準

### 2. 集計及び区分け等

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 海外修学旅行・海外研修とも都道府県の実施校数・参加生徒数は出国数をベースとし、クラス別・班別及び課程別での実施を件数表示とした。また複数方面にまたがる場合、国別集計では延べ数でカウントした。
- 訪問国は、旅行という観点から大陸区分によったが、グアム・サイパン島は北アメリカに、パラオ・マーシャル諸島はオセアニアに区分した。
- 海外研修は学校が主催する3ヶ月未満の語学研修、ホームステイ、教科の特性を生かした実習・研修、姉妹校交流等をまとめ、研修内容の区分は本協会独自の仕訳によった。
- 国内方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。  
中学校は県によってデータ把握が困難なため、参考数値として集計した。
- 訪日教育旅行受入状況については、一部地域を除き、各都道府県教育委員会で把握されているものを掲載した。

### 3. 平成28(2016)年度全国高等学校の概要

- 学校数は4,925校(本校4,839校、分校86校)で、前年度より14校減少している。
  - ・ 公立の学校数は3,589校で、前年度より15校減少している。
  - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
  - ・ 私立の学校数は1,321校で、前年度より1校増加している。
 生徒数は330万9千人で前年度より約9千人減少している。
- 修学旅行対象学年(全日制2年,定時制3年,専科,別科,中等教育後期課程)の生徒数は、約109万9千人で前年度より約1万2千人減少している。

(資料：平成28年度文部科学省学校基本調査)

## Ⅱ 調査結果の概要

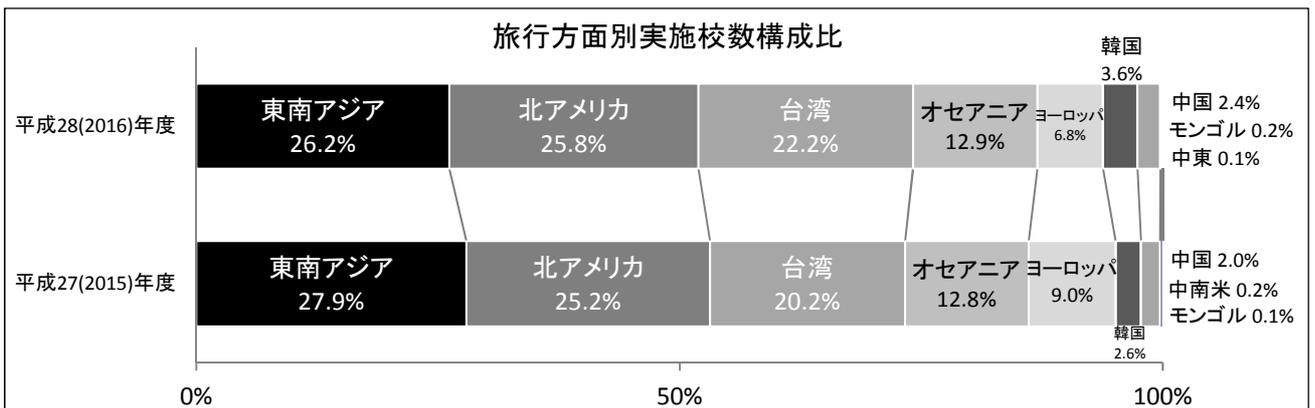
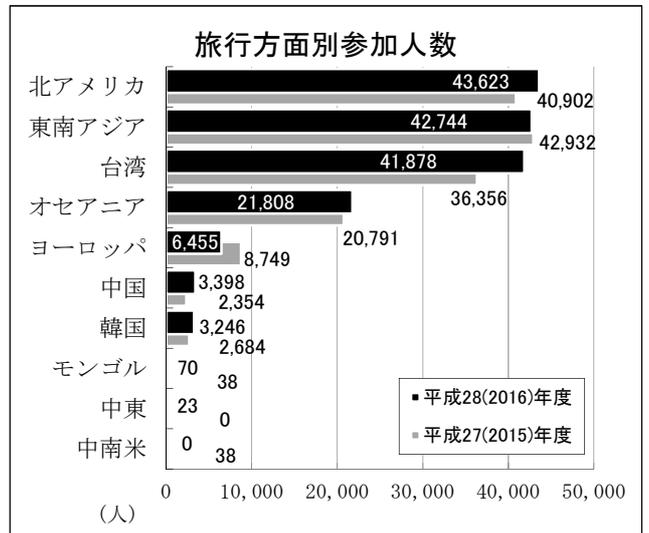
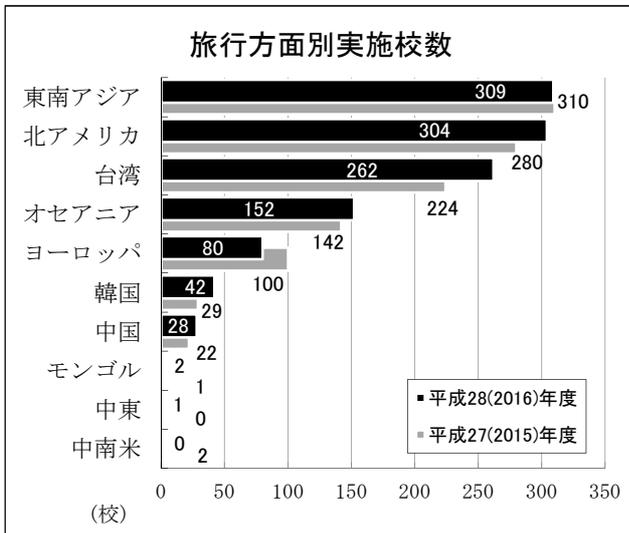
### 1. 平成28（2016）年度 海外修学旅行の実施状況

#### (1) 全国の動向

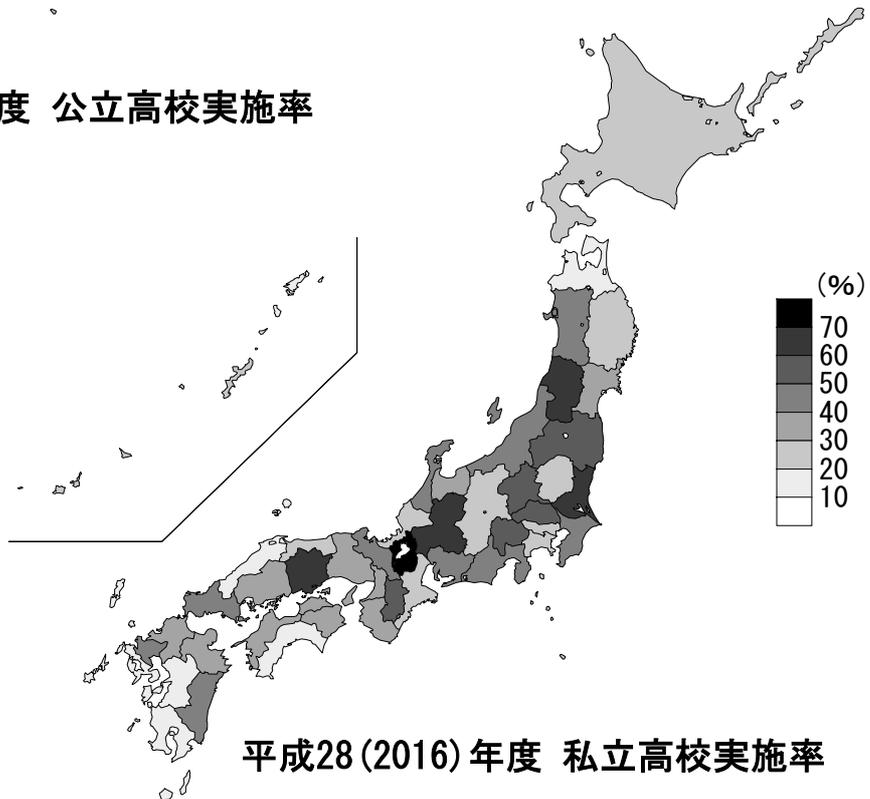
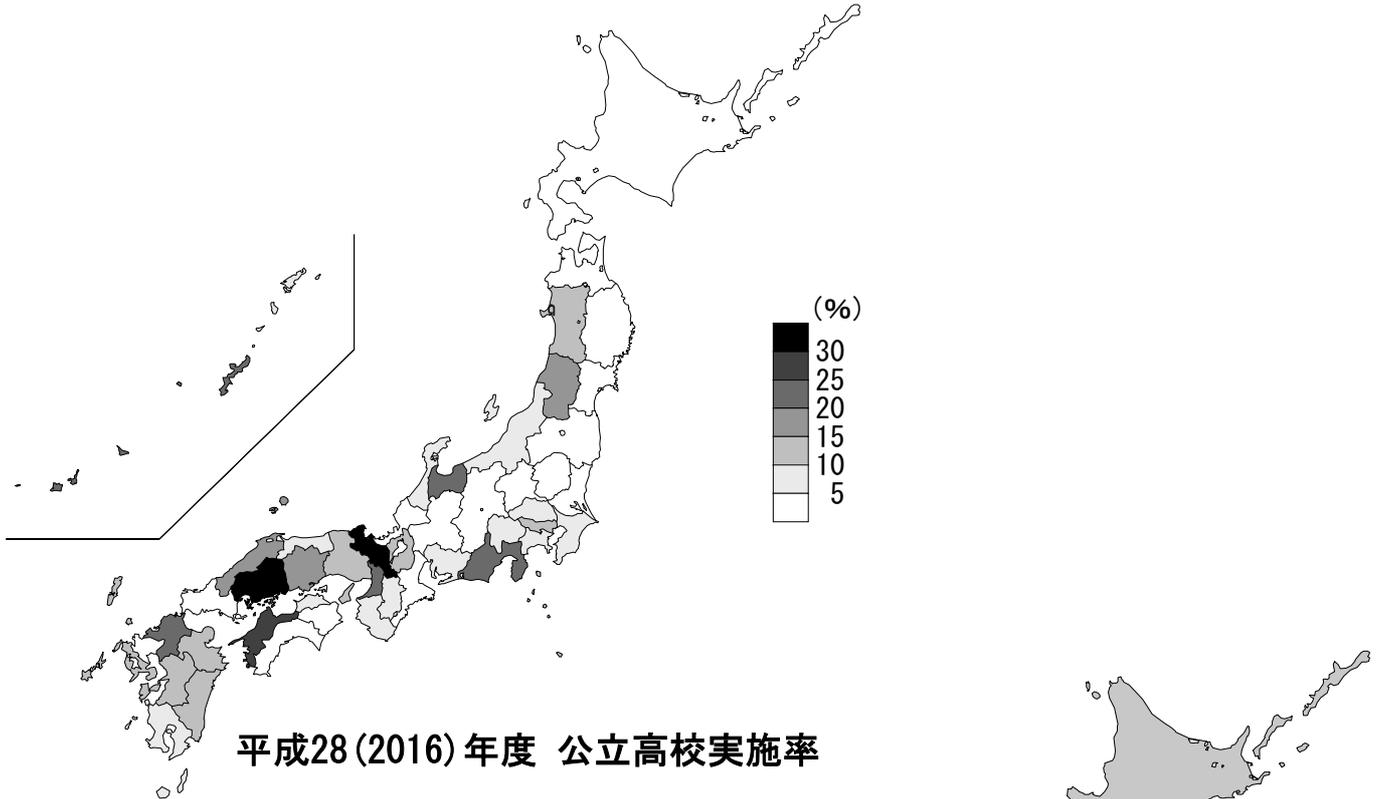
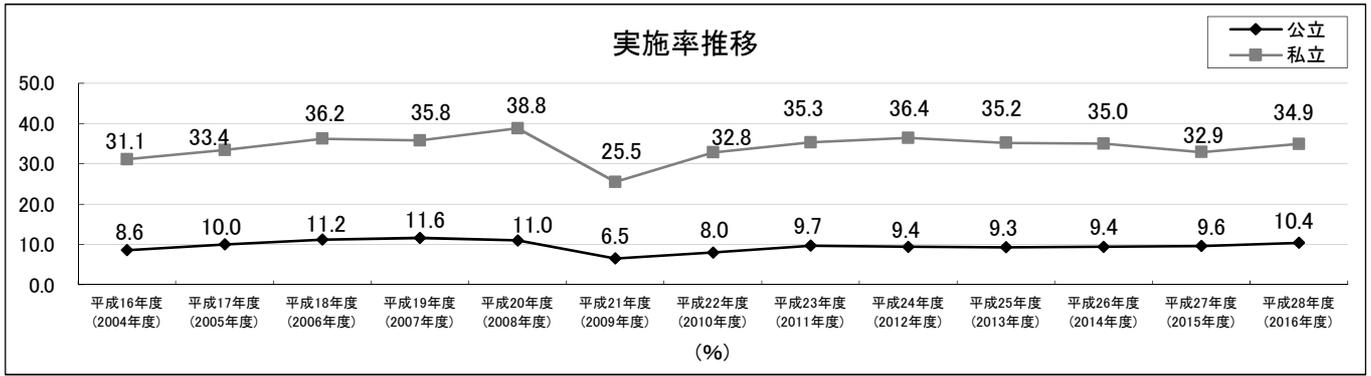
- 実施校数、旅行件数、参加生徒数全てにおいて昨年度を上回った。（52校、71件、7,847人増）  
全国で842校（公立375校、私立467校）が実施し、145,944人（公立63,065人、私立82,879人）の生徒が参加した。公立高校では10.4%、私立高校では34.9%の実施率であった。旅行件数は、1,107件（公立406件、私立701件）にのぼる。
- 前年度との比較で、公私立共に校数、件数、生徒数全て上回るのは、平成23年度以来、5年振り。参加生徒数増（7,847人）の内訳は、公立5,305人、私立2,542人。
- 旅行先（延べ数）では、36ヶ国・地域に1,180校163,245人が訪問した。  
前年度より、実施校数・参加生徒数ともに増加した旅行先は、北アメリカ・台湾・オセアニア・中国・韓国。  
台湾は、平成23年度に初めて1万人を越えてから毎年伸びており、平成25年度には2万人越え、平成27年度は3万6千人越え、本年度ついに4万人を越えた（41,878人）。一方、テロ等の事件が続くヨーロッパは、フランス・イギリスを中心に、昨年度からの減少傾向が続く。平成26年のフェリー転覆事故などの影響により減少を続けていた韓国は一旦落ち着いた。主要方面である、東南アジアは、309校42,744人（公立142校21,197人、私立167校21,547人）、北アメリカは、304校43,623人（公立90校13,532人、私立214校30,091人）であった。

#### ① 年度別実施状況

区分	計			公立			私立		
	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数
平成26(2014)年度	813	1,036	137,646	345	367	54,911	468	669	82,735
平成27(2015)年度	790	1,036	138,097	350	379	57,760	440	657	80,337
平成28(2016)年度	842	1,107	145,944	375	406	63,065	467	701	82,879



※グラフは延べ数を基に作成。



② 公私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成26(2014)年度			平成27(2015)年度			平成28(2016)年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		40	182	28,314	40	224	36,356	42	262	41,878
シンガポール		39	143	18,957	39	147	20,792	38	142	19,286
オーストラリア		29	120	18,134	33	116	17,527	34	127	18,254
グアム		29	99	16,111	27	107	15,827	29	102	16,056
マレーシア		32	135	19,064	32	117	16,572	32	100	14,864
ハワイ		28	77	10,661	29	84	13,174	30	78	11,435
アメリカ本土		25	63	9,034	25	54	6,778	26	67	8,611
カナダ		20	40	5,722	19	31	4,732	26	50	6,962
ベトナム		10	17	2,365	14	25	3,698	16	36	5,996
ニュージーランド		10	21	2,563	10	23	3,126	12	24	3,541

②-1 公立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

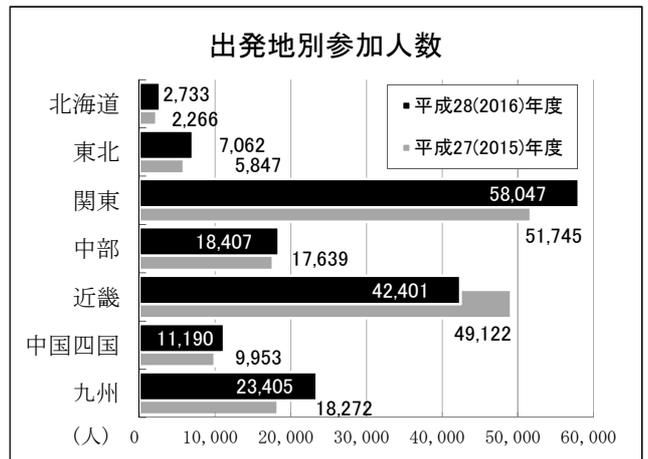
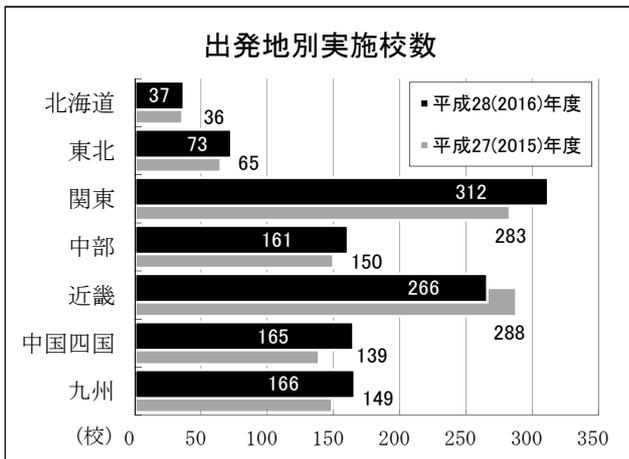
国・地域	年度	平成26(2014)年度			平成27(2015)年度			平成28(2016)年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		32	110	19,443	34	145	25,784	35	167	30,736
グアム		18	52	9,502	20	59	9,202	21	54	9,436
シンガポール		29	64	8,159	28	60	8,522	27	67	8,951
マレーシア		27	72	10,921	25	57	8,534	23	51	7,535
ベトナム		3	6	1,356	4	9	1,974	6	17	3,840
ハワイ		7	17	2,472	9	18	2,590	8	18	2,810
オーストラリア		13	23	3,276	13	23	3,155	13	20	2,233
韓国		11	25	2,283	9	10	1,072	10	13	1,015
中国		5	5	538	5	5	571	5	8	914
カンボジア		1	3	496	1	3	504	2	4	726

②-2 私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成26(2014)年度			平成27(2015)年度			平成28(2016)年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
オーストラリア		26	97	14,858	30	93	14,372	29	107	16,021
台湾		33	72	8,871	32	79	10,572	35	95	11,142
シンガポール		33	79	10,798	32	87	12,270	31	75	10,335
ハワイ		26	60	8,189	27	66	10,584	28	60	8,625
アメリカ本土		24	51	8,260	22	42	6,136	24	57	8,008
マレーシア		26	63	8,143	26	60	8,038	24	49	7,329
グアム		24	47	6,609	21	48	6,625	23	48	6,620
カナダ		18	35	5,184	17	27	4,278	24	45	6,420
ニュージーランド		10	20	2,243	9	21	2,776	11	22	3,200
イギリス		21	44	6,426	18	31	3,308	16	24	2,978

(2) 都道府県別の動向

○ 実施校の出発地別動向は、近畿地方以外、全ての方面で前年を上回った。  
 都道府県別では、29都道府県で増、12府県が減少。  
 公立では22都道府県で増加、8県で減少。私立では27都道府県で増加、12道府県で減少している。



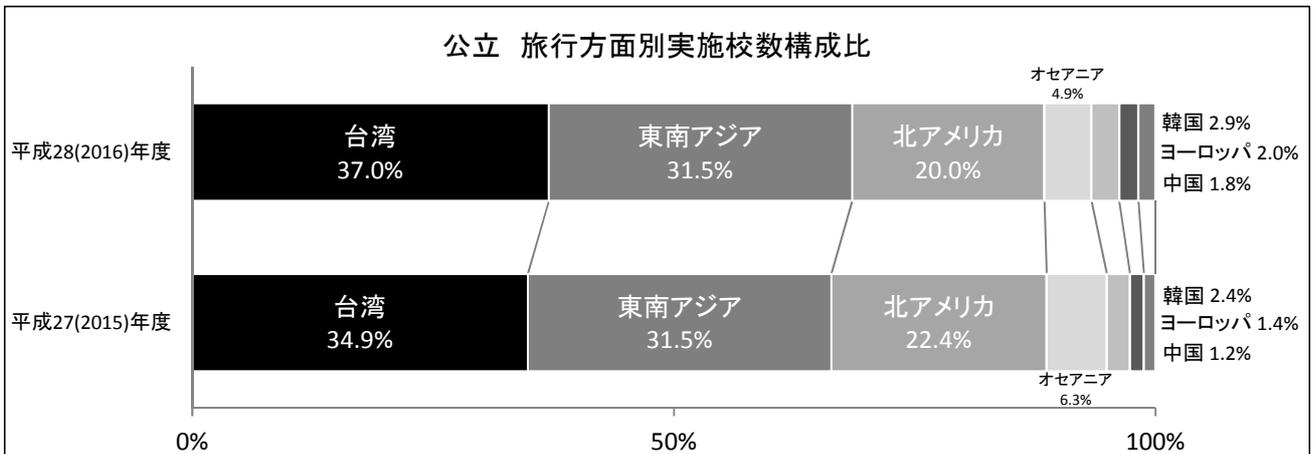
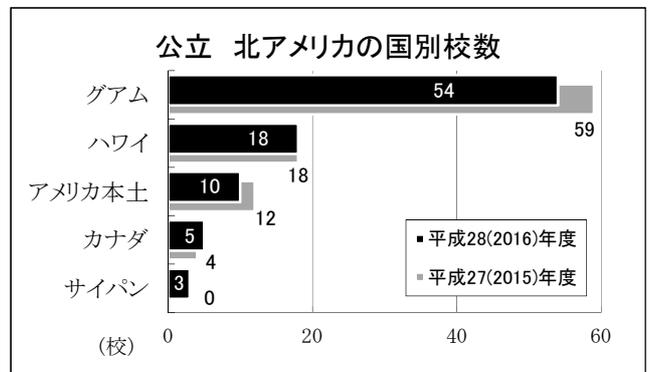
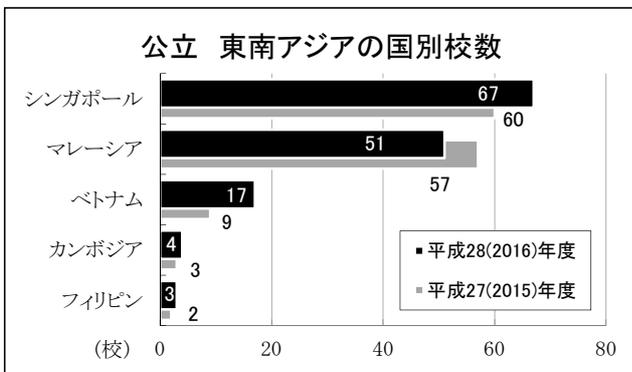
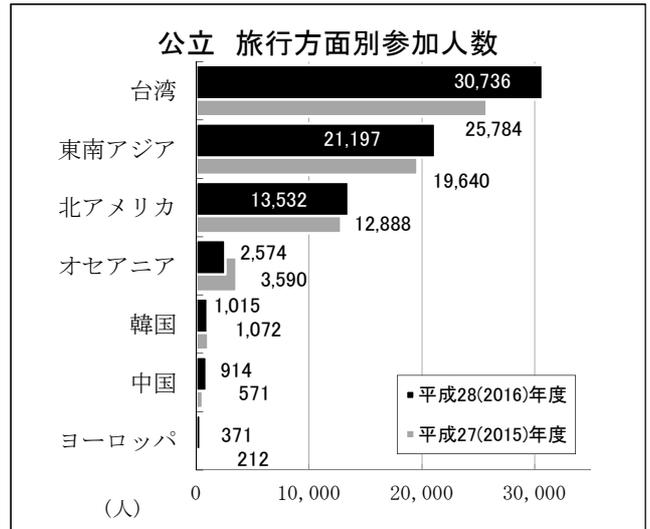
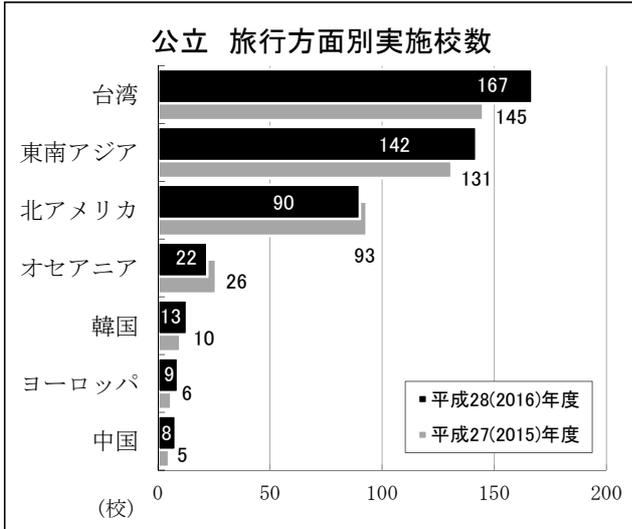
※グラフは延べ数を基に作成。

(3) 公私立別の状況

① 公立高等学校

○ 実施校は、375校が実施し63,065人が参加した。旅行実施件数は406件であった。  
 前年度より、実施校数で25校、旅行実施件数は27件増加。参加生徒数も5,305人増加した。

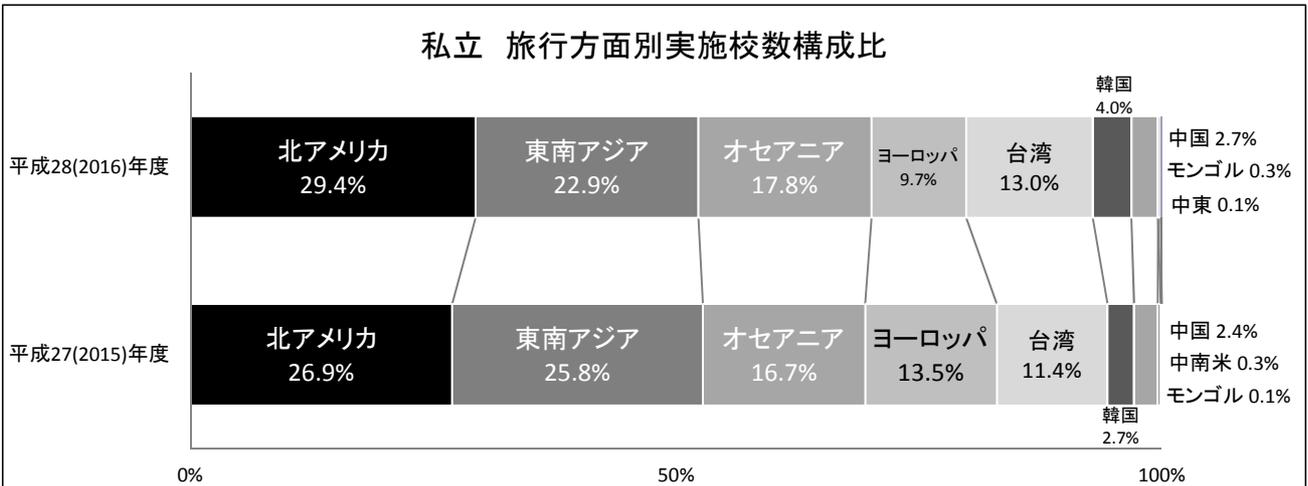
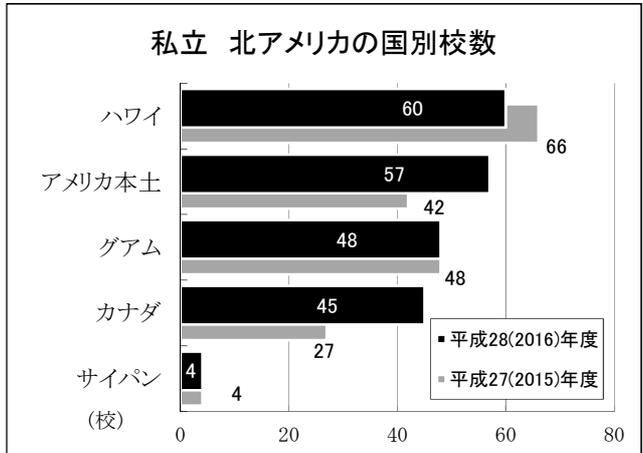
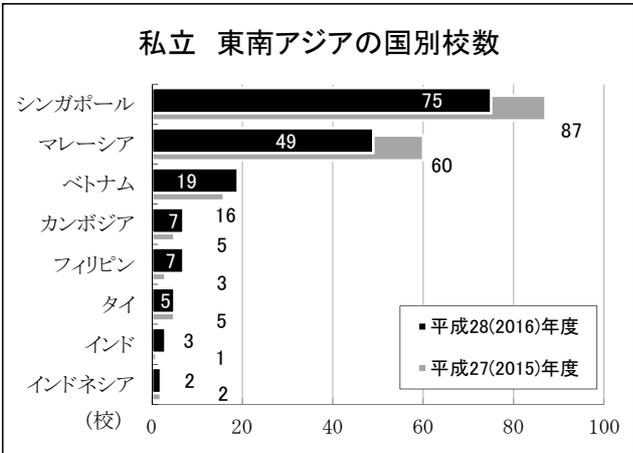
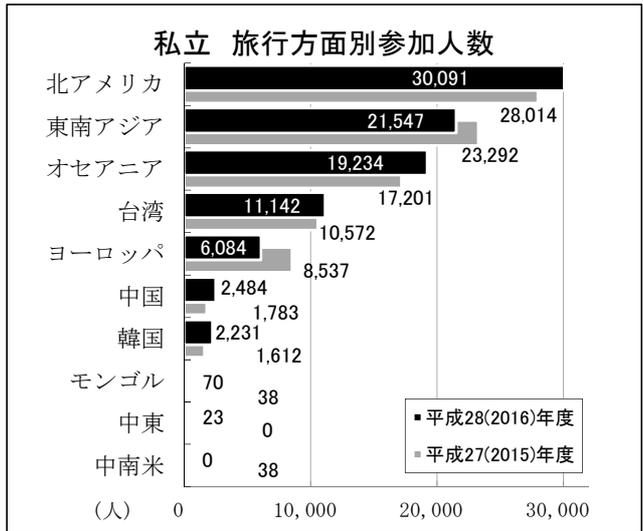
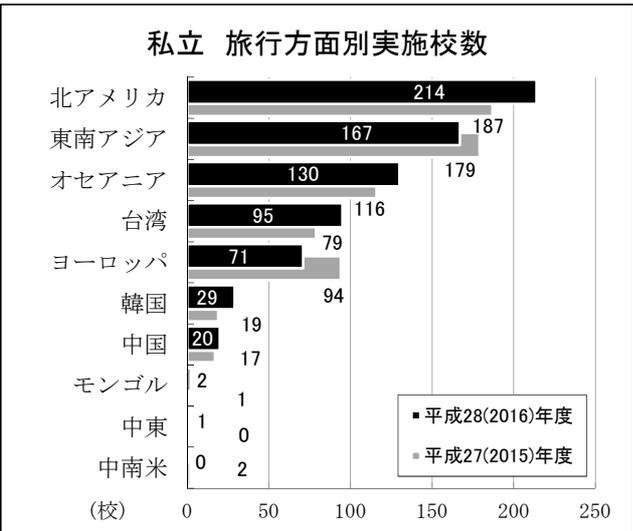
○ 旅行先(延べ数)では、23ヶ国・地域に451校 70,339人が訪問した。  
 実施校数、旅行件数、参加生徒数全てにおいて、前年を上回った。  
 前年同様に大幅な増加となった台湾は、167校30,736人まで伸びた。(22校4,952人増)  
 東南アジアが、実施校数、参加生徒数共に増えた。国別では、シンガポールとベトナムが増加。  
 特にベトナムは、顕著な伸びを示しており昨年の倍増近い結果となった。(17校3,840人)  
 又、僅かずつではあるが、中国、韓国の復調の兆しが見える。



※グラフは延べ数を基に作成。

② 私立高等学校

○ 実施校数は467校、82,879人が参加した。旅行実施件数は701件であった。  
 前年度より、実施校数で27校、旅行実施件数は44件増加。参加生徒数も2,542人増加した。  
 ○ 旅行先(延べ数)では、35ヶ国・地域に729校92,906人が訪問した。  
 公立同様、実施校数、旅行件数、参加生徒数全てにおいて、前年を上回った。  
 方面別では、北アメリカ214校30,091人、東南アジア167校21,547人、オセアニア130校19,234人が多い。ヨーロッパは、フランス・イギリス・ドイツを中心に、大幅に減少している。これは平成27年に起こったテロ事件の影響が反映したものと思われる。  
 一方、激減を続けてきた韓国が、4年振りに増加に転じた。(10校619人増)



※グラフは延べ数を基に作成。

(4) 公私立中学校の状況（参考）

中学校の海外修学旅行は、私立学校を主としており、公立学校は一部府県での実施が見られる。  
参考資料として掲載した。

- 141校10,006人(公立15校870人、私立126校9,136人)の実施があった。
- 公立中学校は11府県で実施され、全体的に少ない中でも、比較的中部(福井・静岡)、東北(青森・福島)の学校の実施がみられる。  
旅行方面は、校数ではオーストラリア(5校152人)、マレーシア(3校246人)、台湾(3校149人)が多く、実施時期は秋(10月、11月)、日数は4～6日間 の設定が多い。  
シンガポール、マレーシアへは、他地域に比べ、比較的大規模の学校の実施がみられた。
- 私立中学校は37都道府県で実施され、オセアニア方面(57校4,582人)が最も多く、次いで北アメリカ(43校2,967人)、東南アジア(21校1,481人)の順となっている。  
実施時期は、3月が最も多く、旅行日数は「10日間以上」、費用は15万円以上が多い。

2. 平成28（2016）年度 海外研修（修学旅行外）の実施状況

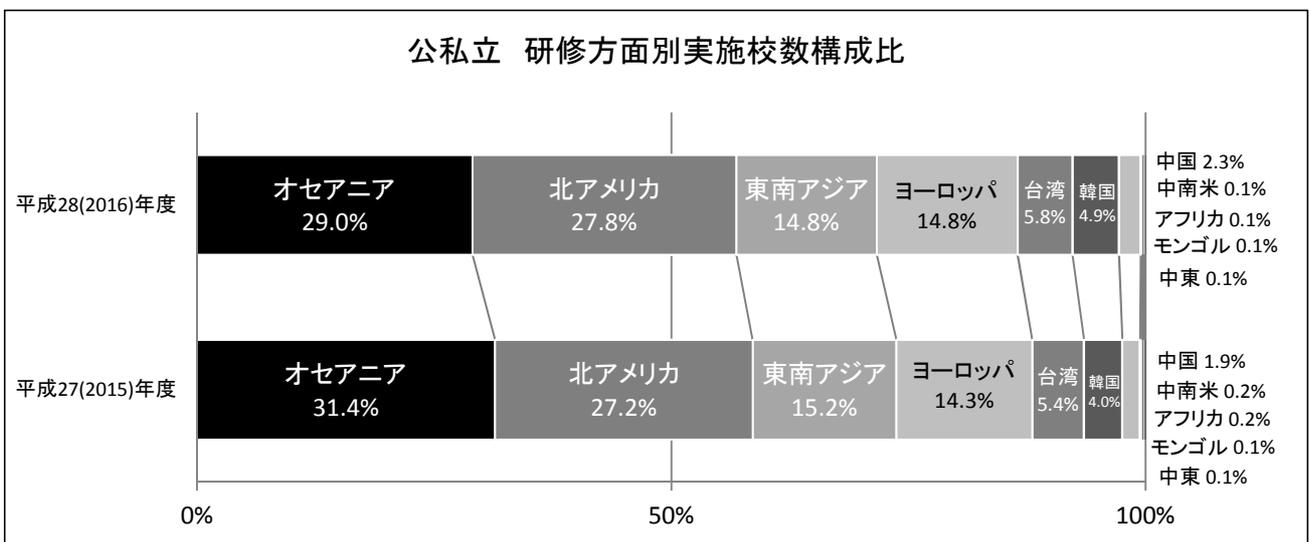
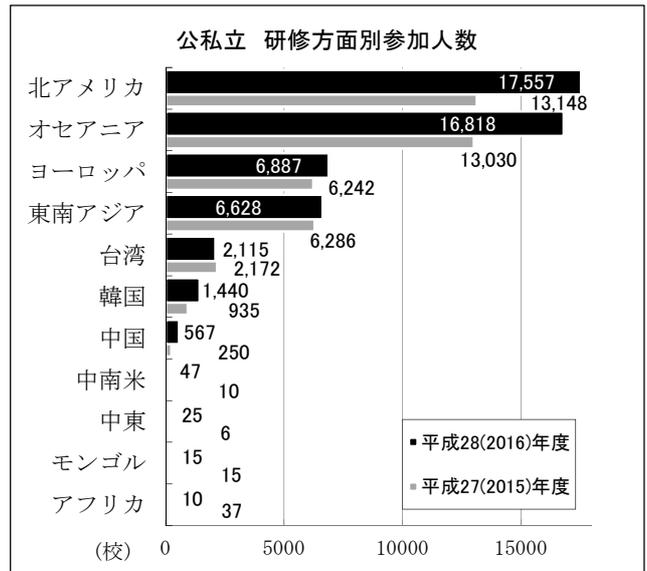
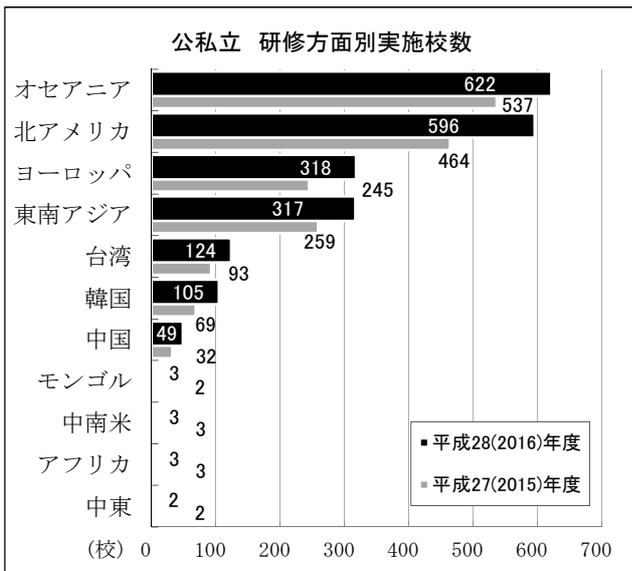
○ 実施校は、1,427校(公立756校、私立671校)が実施し、参加生徒数は49,998人(公立19,361人、私立30,637人)であった。研修件数は2,346件(公立1,024件、私立1,322件)を数える。  
前年度から、実施校数、研修件数共に大きく増加し、参加生徒数も1万人近く増えた。

○ 研修先(延べ数)では、55ヶ国・地域に2,142校52,109人(公立989校20,343人、私立1,153校31,766人)が参加した。  
研修先はオセアニア・北アメリカが中心で変わらず。テロ等の影響が心配されたヨーロッパは、イギリス訪問校が増え、数字的には前年を上回った。中国、韓国も復調傾向にある。

○ 研修内容は、ホームステイ・語学研修が1,156校27,794人で実施総数(留学含む)の校数比47.8%、人数比53.3%と最も多い。公立では全件数の校数比34.2%(人数比42.7%)、私立で校数比58.3%(人数比60.1%)となっている。

海外研修旅行(修学旅行外)の年度別実施状況

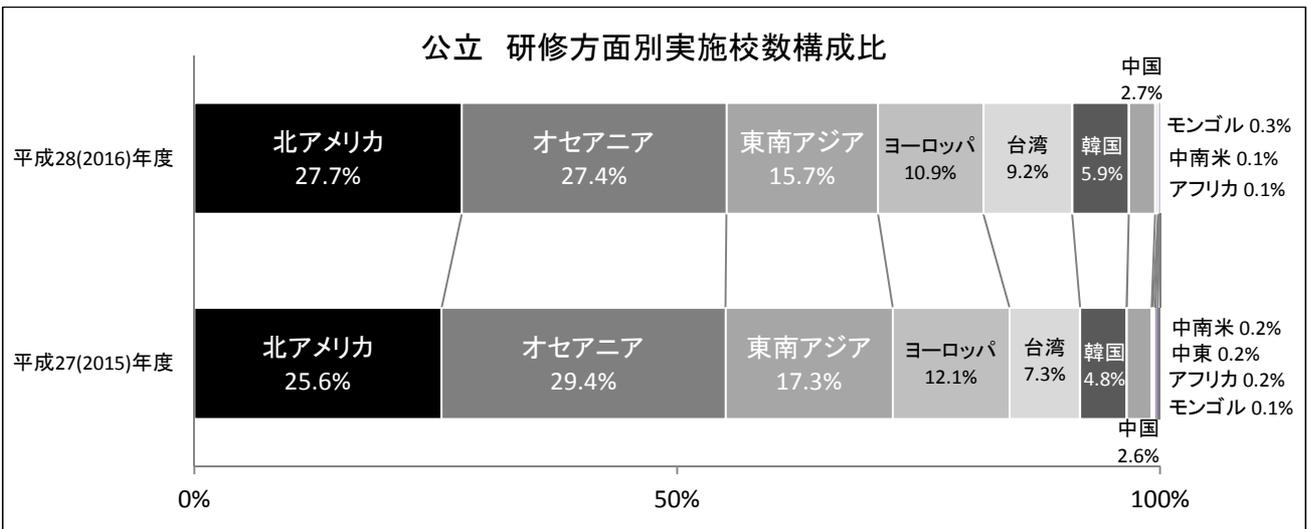
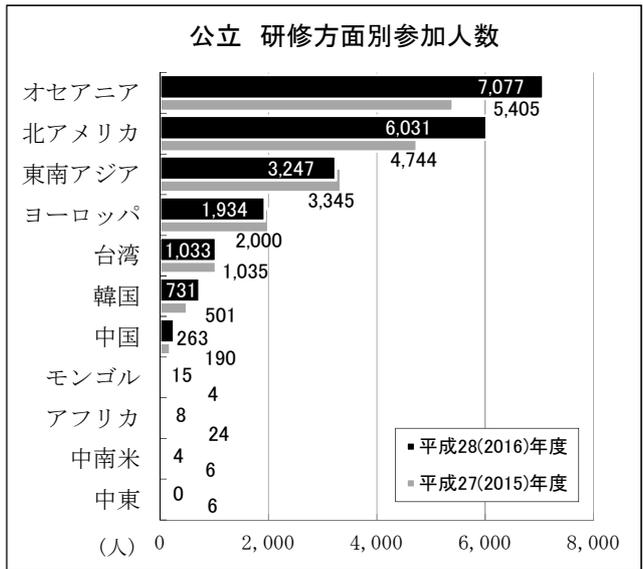
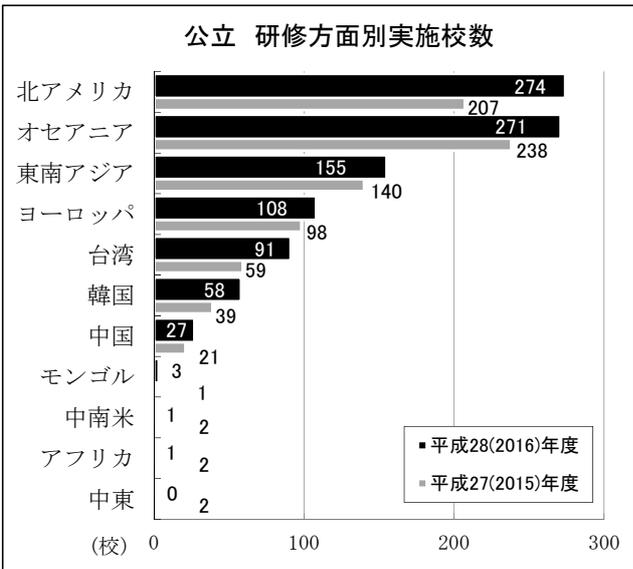
区分	計			公立			私立		
	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数
平成26(2014)年度	1,199	1,776	38,002	612	776	14,396	587	1,000	23,606
平成27(2015)年度	1,192	1,821	40,506	609	817	16,129	583	1,004	24,377
平成28(2016)年度	1,427	2,346	49,998	756	1,024	19,361	671	1,322	30,637



※グラフは延べ数を基に作成。

(1) 公立高等学校

- 実施校は、756校(件数は1,024件)が実施し、参加生徒数は19,361人であった。
- 研修先(延べ数)では、40ヶ国・地域に989校20,343人が参加した。  
 研修方面ではオセアニア(271校7,077人)、北アメリカ(274校6,031人)で過半数を占めている。  
 国別では、オーストラリア(225校5,805人)が最も多く、アメリカ本土(189校4,187人)、  
 ニューゼaland(46校1,272人)が続く。生徒数は少ないが、校数では台湾、韓国、カナダ、  
 イギリスにも多くの学校が訪れている。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が359校8,696人(校数比34.2%、人数比42.7%)と最も多い。次いで国際交流・国際理解が236校5,428人(校数比22.5%、人数比26.7%)と多いが、  
 同世代間での交流を目的とした、学校交流(姉妹校交流・学校訪問)を研修目的の一つとして  
 取り入れる学校が増えている。「学校交流」を修学旅行実施基準に掲載している教育委員会  
 もある)



※グラフは延べ数を基に作成。

(2) 私立高等学校

○ 実施校は、671校(件数は1,322件)が実施し、参加生徒数は30,637人であった。  
 ○ 研修先(延べ数)では、51ヶ国・地域に1,153校31,766人が参加した。(昨年度より11ヶ国増)  
 主要な研修方面は、オセアニア(351校9,741人)、北アメリカ(322校11,526人)、ヨーロッパ(210校4,953人)と変わらないが、東ティモール、ブータンなど、新たな研修国があった。  
 研修内容は、ホームステイ・語学研修が797校19,098人(校数比58.3%、人数比60.1%)と過半数を占める。

